

帯広の森だより

第9号

今年の春先は、例年より暖かい日が続き、草花の成長もいく分早かったようですね。帯広の森のオオバナノエンレイソウも5月の連休明けには満開になっていました。これも地球温暖化の影響でしょうか。帯広の森のような場所がたくさんできて、二酸化炭素を吸収してくれるといいですね。

市民の皆さんと帯広の森とをつなぐ「帯広の森だより」第9号です。

2008年7月

【発行】

帯広市都市建設部みどりの課

〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1

Tel: 0155-65-4186 Fax: 0155-23-0159

E-mail: park@city.obihiro.hokkaido.jp

HP: http://www.city.obihiro.hokkaido.jp

つづけています “森づくり” - 植樹 -

平成16年に30年の歴史の幕を閉じた「市民植樹祭」のあとを継いで、毎年小規模ながら、市民の手による植樹が続けています。今年も5月中旬から地域の児童や生徒などの手により、カシワやミズナラを中心に約900本の植樹を行いました。



今年の植樹のトップバッターは、森の少年隊と JICA の研修員、畜大の留学生。交流も楽しみながらの植樹でした。(5/18)

環境学習に積極的に取り組む森の里小学校。今年は、みやま会のおじいちゃんと一緒に木を植えました。(5/23)



第5回(昭和54年)の市民植樹祭から参加し、今回で30回目の白樺学園。女子生徒の方が元気だったかも!?(5/22)



今年初参加のあやめ保育所。小さなスコップを片手に「どんぐりの木を植える!」とのカワイイ声が聞かれました。(5/27)

体感しよう! “帯広の森” - 自然観察会 育樹体験会 -

帯広の森の豊かな自然や、その恵みを体感してもらうさまざまなイベントを実施しています。

お花畑のようなオオバナノエンレイソウ(写真左)やとってもカワイイヤチボウズ(写真右)に参加した皆さんは見とれていました。(5/11、6/15)



自然観察会



「森の回廊@十勝」の協力のもと、森づくりのうえで必要な間伐(写真左)を行い、その間伐材を利用して、イーゼルづくりなど(写真右)を行いました。(6/22)



育樹体験会



森づくりに関する行事・活動のお知らせ(2008年7~9月ごろ)

帯広の森では以下のとおり、市民の皆さんが帯広の森でいきものの観察や森づくり作業を体験できる行事などを実施しているほか、市民団体が取り組む活動に参加できる場合もあります。行事予定は随時更新しています。詳しくは、市役所みどりの課みどりと花の係(Tel: 65-4186 直通)まで。

日時	行事・活動	場所	対象者	内容
7/6(日) 9:00~	森の少年隊 帯広の森植生調査	帯広の森	隊員のみ	森の少年隊の活動。帯広の森に生息する草本植物の観察と、開花状況を調査します。
7/12(土) 9:00~	間伐材の無料配布	帯広の森 (西22南5)	どなたでも	公園の間伐材を無料配布します。いろいろな用途にお使いいただけます。小雨決行。(雨天時は13日に順延)
7/20(日) 9:00~	エゾリスの会 里山をつくろうプロジェクト	運動公園PG場 北東側(西21南6)	どなたでも	エゾリスの会の森づくり活動。林床の草刈をします。(5:00~ モニタリングサイト1000 鳥類調査)
8/17(日) 9:00~	エゾリスの会 里山をつくろうプロジェクト	運動公園PG場 北東側(西21南6)	どなたでも	エゾリスの会の森づくり活動。林床植物の調査をします。(モニタリングサイト1000 植物相・チョウ類調査)
8/31(日) 10:00~	帯広の森 ペインティングワークショップ	森の交流館・十勝 周辺	どなたでも	帯広市教育委員会など主催。帯広の森で「思いっきり」絵を描いてみましょう。要申込、参加無料。
9/21(日) 9:00~	エゾリスの会 里山をつくろうプロジェクト	運動公園PG場 北東側(西21南6)	どなたでも	エゾリスの会の森づくり活動。10月に行なう炭焼きの準備(主に薪割り)をします。

100年続けます！ - モニタリングサイト1000 里地調査 - エゾリスの会

環境省が実施する「モニタリングサイト1000(正式名称:重要生態系監視地域モニタリング推進事業)」の里地調査のコアサイトに「帯広の森」が選ばれ、その調査のコーディネート業務を「エゾリスの会」が実施することになりました。

ここでは、モニタリングサイト1000(以下「モニ1000」)の概要とエゾリスの会の調査活動をご紹介します。

モニ1000ってなに？

モニ1000は、動植物の生育生息状況などを100年にわたって同じ方法で調べ続けるサイト(調査地点)を全国に1000ヶ所程度設置し、日本の自然環境の変化をとらえようという環境省のプロジェクトです。

生態系タイプ(森林、里地里山、陸水域、沿岸域、小島嶼)ごとにサイトを設置し、調査を行うこととしており、このうちの里地里山タイプのコアサイトに(代表的な里地里山)に帯広の森が選ばれました。

また、モニ1000は、地域の市民が参加し、自らが主体となって調査を行うことで、地域を主体とした環境の保全が実現することを目指しています。



鳥類調査の打合せのようす



こんなかわいい小鳥に出会えるかも

帯広の森ではなにを調べるの？ 調査はだれがするの？

帯広の森で調査するのは、植物相、鳥類、中・大型哺乳類、カエル、チョウ、人為的インパクト(人が環境与える影響)です。

モニ1000でエゾリスの会が行なうのは調査業務のコーディネートです。エゾリスの会では一般市民の皆さんと一緒に調査をしたいと考えています。専門的な知識が無くても構わないので、鳥が好き、蝶々が好き、自然が好きな方など、100年続く壮大な調査に、そして、環境保護に興味のある方は、エゾリスの会まで気軽に連絡してください。(連絡先 34-8504 伊藤まで)